

平成30年度 第1回本庄市水道事業審議会資料

平成30年度における  
本庄市水道事業ビジョンの取組予定について

目指す方向性	施策	第5章 推進する実現方策
安全	施策1 水質管理のさらなる強化	1-1水質検査の適切な実施 1-2水安全計画の策定と運用 1-3貯水槽水道の衛生管理向上に向けた啓発活動の実施
		強靱
施策3 危機管理体制の強化	3-1危機管理マニュアルの改訂 3-2応急対策の拡充 3-3他事業者との相互応援体制の強化	
持続	施策4 既存施設の適切な運用と長寿命化	4-1井戸の定期調査と長寿命化の実施 4-2機械・電気設備の保全 4-3漏水率の改善
	施策5 持続可能な経営の推進	5-1健全な経営の維持 5-2人材の確保と育成
	施策6 情報提供の拡充と利用者の利便性の向上	6-1情報提供の拡充 6-2利用者の利便性の向上

## 施策1 水質管理のさらなる強化

事業費 16,021千円

### 1-1 水質検査の適切な実施

- ①原水の水質検査(井戸18か所)、原水ダイオキシン類検査(2か所)
- ②浄水の水質検査(浄水場4か所、給水栓6か所)、浄水ダイオキシン類検査(2か所)
- ③埼玉県水道水質管理計画に基づく水質検査  
(監視地点に指定されている13号井戸の水質検査)
- ④浄水の放射性物質測定(2か所)

### 1-2 水安全計画の策定と運用

水安全計画の策定委託

## 施策1 水質管理のさらなる強化

### 1-3 貯水槽水道の衛生管理向上に向けた啓発活動の実施

貯水槽水道(受水槽・高置水槽)の利用者に、より安全でおいしい水道水をとどけるため、設置者による適切な衛生管理(定期の清掃及び検査)が行われるよう、広報紙やホームページによる啓発活動を実施

## 2-1 浄配水施設の計画的耐震化と更新

平成30年度は該当する取組みはありません。計画的に耐震化を進めていくために、次年度以降、基本設計に着手予定

## 2-2 管路の計画的耐震化と更新

### ①老朽管更新工事(延長1,740メートル)

老朽化した鋳鉄管や漏水が頻発する塩化ビニル管を耐震管に布設替え

### ②配水管布設工事(延長1,072メートル)

道路の拡幅等の整備により、新たに配水管(耐震管)を布設

### ③他事業関連配水管布設替工事(延長1,380メートル)

公共下水道工事などに伴い、支障となる配水管を耐震管に布設替え

### 施策3 危機管理体制の強化

事業費 0千円

#### 3-1 危機管理マニュアルの改訂

既存の危機管理マニュアルと危機管理課が策定した地域防災計画との整合性を確認し、必要に応じて改訂

#### 3-3 他事業体との相互応援協定の強化

災害時連絡管については、埼玉県11ブロック水道広域化検討部会にて調査・研究



施策5 持続可能な経営の推進

事業費

368千円

## 5-1 健全な経営の維持

次期窓口収納等業務委託に向けての仕様書等の検討

## 5-2 人材の確保と育成

- ①公益社団法人日本水道協会をはじめとする研修会への参加
- ②埼玉県主催研修会への参加(参加費無料)

施策6 情報提供の拡充と利用者の利便性の向上

事業費

739千円

## 6-1 情報提供の拡充

- ① 広報ほんじょうへの掲載(6月号を予定)
- ② 広報紙の発行(下半期の予定)
- ③ 小学生社会科見学の実施

## 6-2 利用者の利便性の向上

各種セミナーへの参加等により利便性向上について情報収集